



AFAF

ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023

Closing Report

野見山曉治
Goro NOMIYAMA

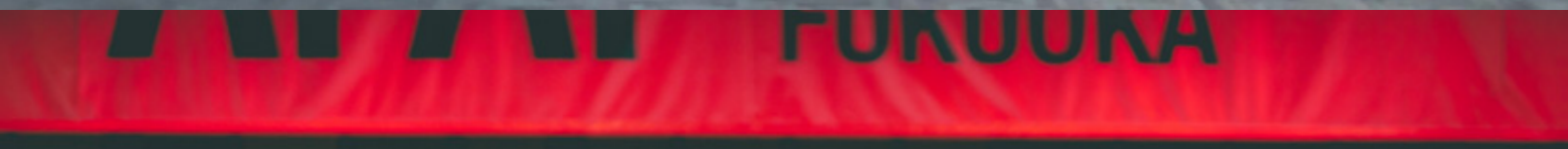
- 01. **Organizer's Foreword** | 主催者あいさつ
- 02. **Overview** | 開催概要
- 03. **Partners** | 協賛・協力
- 04. **Exhibitors** | 出展ギャラリー
- 05. **Curation** | キュレーションブース
- 06. **Collaborative Program** | 連携プログラム

- 07. **Vernissage** | ヴェルニサージュ
- 08. **Reception Party** | レセプションパーティー
- 09. **Talk Session** | トークセッション
- 10. **Guide Tour** | 会場内ツアー
- 11. **Satellite Program** | サテライトプログラム
- 12. **Associated Program** | 関連プログラム

- 13. **Pre Event** | プレイベント
- 14. **Privilege** | AFAF特典
- 15. **Achievement** | 開催実績
- 16. **Media Coverage** | メディア掲載
- 17. **AFAF Visual Identity** | ヴィジュアルアイデンティティ
- 18. **Printed Matter** | 印刷物

- 19. **Sign Design** | サインデザイン
- 20. **Website / Social Media** | ウェブサイト/SNS
- 21. **City Dressing** | シティドレッシング
- 22. **Goods** | グッズ
- 23. **Volunteer Staff** | ボランティア
- 24. **Visitor Survey** | 来場者アンケート







01. Organizer's Foreword

主催者あいさつ

第8回目となる「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023」を、9月21日(木)～24日(金)の4日間、会場面積が過去最大規模となるマリンメッセ福岡B館にて開催、無事閉幕いたしました。

昨年より共催に福岡市を迎え、今年は新たに一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパンも加わった今年のAFAF2023では、過去最多となる126の出展者が参加いたしました。また、台湾・韓国・香港・ベトナム・マレーシア・フィリピンといったアジア諸国のギャラリーも参加するなど、ART FAIR ASIA FUKUOKAの名に相応しい国際色豊かで、熱気に包まれたアートフェアが実現いたしました。また、同時期開催の福岡市の「FaN Week」をはじめ、福岡空港、博多駅前広場でのサテライト企画もあり、福岡の街がアート一色に彩られました。

今後ともAFAFは、アジアのリーダー都市を目指す福岡市と共に、日本とアジアのアートマーケットの架け橋となるアートフェアを目指してまいります。

福岡の街が、アートの力でより豊かで、経済と文化の両面で発展し、多様性と創造力を育む交流都市となる事を願いその一助となる事ができれば幸いです。

改めまして、ご出展者・アーティストの皆さま、ご協力をいただいたパートナーの皆さま、運営・ボランティアスタッフの皆さま、ご来場いただいた皆さまに御礼申し上げます。

阿部和宣

一般社団法人 アートフェアアジア福岡
代表理事



02. Overview

開催概要

開催日程： 2023/9/22 (金)～24 (日)
※2023/9/21 (木)
招待者・報道関係者向け内覧会

VIP View
9/21 (木) 16:00 - 20:00
9/22 (金) 11:00 - 14:00

Public View
9/22 (金) 14:00 - 19:00
9/23 (土) 11:00 - 19:00
9/24 (日) 11:00 - 17:00

メイン会場： マリンメッセ福岡B館

サテライト会場： 博多駅前広場
福岡空港国内線ターミナル

主催：  (一社)アートフェアアジア福岡

共催：  福岡市 FUKUOKA CITY  Culture Vision Japan

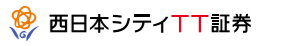
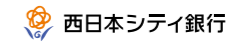
来場者数： 10,530人 (2023/9/21～9/24、4日間合計)
売上総額： ¥309,000,000
出展者数： 126 (国内ギャラリー：103、海外ギャラリー：14、企業・団体等：9)
出展アーティスト数： 約500人
出展作品数： 約2,000



03. Partners

協賛・協力

協賛：



特別協力：



協力：

株式会社アイ・ダヴリュー・エイ・ツアー / 博多阪急 / Restaurant Sola / ART PASS / 株式会社JR博多シティ / 福岡国際空港株式会社 / 博多まちづくり推進協議会 / JR九州エージェンシー株式会社 / 大和証券株式会社 / シュマツ / 三和酒類株式会社 安心院葡萄酒工房 / Artist Cafe Fukuoka / aTOKYO株式会社 / Bar Higuchi / 福博ツナグ文藝社 / エノテカ株式会社 / One Kyushu ミュージアム / 牛島内装 / 株式会社THE ART

後援：

福岡県 / 経済産業省 九州経済産業局 / 公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー / 公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団 / 福岡地域戦略推進協議会 / 一般社団法人 九州経済連合会 / 福岡商工会議所 / 公益財団法人 九州経済調査協会・BIZCOLI / 西日本新聞社 / RKB毎日放送 / 九州朝日放送 / テレビ西日本 / FBS福岡放送 / テレQ / 駐福岡大韓民国総領事館 / 台北経済文化大阪事務所福岡支所 / 駐日インドネシア共和国大使館 / 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 / 在福岡カンボジア王国名誉領事館 / シンガポール共和国大使館 / 在京マレーシア大使館 / 在福岡モンゴル国名誉領事館 / 駐日スリランカ大使館 / 在福岡ラオス人民民主共和国名誉領事館 / 駐日ブルネイダルサラーム大使館

メディアパートナー：

アートコレクターズ / 美術手帖 / Tokyo Art Beat

特別協力美術館・博物館：

福岡アジア美術館 / 福岡市美術館 / 福岡市博物館

アートフェアパートナー：

Ulsan International Art Fair / Art Fair Beppu 2023 / 神戸アートマルシェ
Infinity Japan Contemporary Art Show

助成：

令和5年度 観光庁 観光再始動事業

04. Exhibitors

出展ギャラリー

ASIA

22 ギャラリー

- Gallery Artcelsi (ソウル) Artemis Art (クアラルンプール) アートフロントギャラリー (東京)
- Art in dongsan (ソウル/コヤン) a|n Gallery (香港) 長亭 GALLERY (東京)
- Gallery EYN (ソウル) GALLERY HAYASHI + ART BRIDGE (東京) IT Park Art House (台北)
- J 12 contemporary art by jason (香港) LEESAYA (東京) LOTUS GALLERY (プサン)
- nca | nichido contemporary art (東京) N gallery (テグ) gallery 蓮依 (神奈川)
- Satoko Oe Contemporary (東京) 東京画廊+BTAP (東京/北京)
- 小山登美夫ギャラリー (東京) Gallery Upkas (テグ) Uspace Gallery (台北)
- Vin Gallery (ホーチミン) Vinyl on Vinyl (マニラ)

Unlimited

82 ギャラリー

- AaP/roidworksgallery (東京) アート・コレクション中野 (名古屋) ARTDYNE (東京)
- Artglorieux GALLERY OF TOKYO (東京) アートプロ ガラ (福岡) Gallery Art Space (兵庫)
- 芦屋画廊 kyoto (京都) 梅軒画廊 (京都) biscuit gallery (東京/軽井沢)
- ボヘミアンズ・ギルド (東京) GALLERY CLEF (東京) COMBINE / BAMI gallery (京都)
- Contemporary HEIS (東京) EUKARYOTE (東京) galerieH (東京) gekilin. (大阪)
- Goyo Gallery (東京) 花田美術 (東京) HENKYO (東京) hIDE GALLERY (東京)
- ギャラリー広田美術 (東京) 石川画廊 (東京) ジルダールギャラリー (名古屋)
- JINEN GALLERY (東京) 川田画廊 (神戸) 北井画廊 (東京) 小林画廊 (東京)
- 神戸元町 歩歩琳堂画廊 (神戸) KOUICHI FINE ARTS (大阪) GALLERY KTO (東京/愛知)
- 画廊くにまつ青山 (東京) MAKI Gallery (東京) MARGIN (東京) MARUEIDO JAPAN (東京)
- GALLERY MERROW (東京) 水戸忠交易 (東京) みぞえ画廊 (東京/福岡)
- ミヅマアートギャラリー (東京/シンガポール/ニューヨーク) Gallery MONMA (札幌)
- ギャラリーモリタ + 画廊香月 (福岡/東京) GALLERY NAO (東京)
- Gallery NAO MASAKI (名古屋) 靖雅堂 夏目美術店 (東京)
- 福岡日動画廊 (東京/名古屋/福岡/パリ/台北) 西村画廊 (東京) のこぎり (東京)
- N project (大阪) ギャラリー尾形 (福岡) Gallery 螺 (大阪) GALLERY 麟 (東京)
- ROD GALLERY (東京) 3ta2 SANTANI GALLERY (愛媛) Gallery Seek (東京/青森)
- 青龍堂 (東京) 靖山画廊 (東京/ニューヨーク) ギャラリー石榴 (松本/東京)
- Shibayama Art Gallery (東京) 至峰堂画廊 (東京) 四季彩舎 (東京) Sho + 1 (東京)
- 秋華洞+SCENA (東京) 春風洞画廊 (東京) SOM GALLERY (東京) SUB POPO (東京)
- Gallery Suchi (東京) SYSTEMA GALLERY (大阪/カトマンズ/ローマ)
- TAKU SOMETANI GALLERY (東京) GALLERY TARGET (東京)
- TEZUKAYAMA GALLERY (大阪) The Tolman Collection (東京/ニューヨーク)
- ときの忘れもの (東京) Tokyo International Gallery (東京)
- TOMOHIKO YOSHINO GALLERY (東京) TomuraLee (東京/ソウル) gallery UG (東京/京都)
- ピニールテープ (京都) YIRI ARTS (台北) YOD Gallery (大阪/東京) 万画廊 (東京)
- YUKIKOMIZUTANI (東京) YUMEKOUBOU GALLERY (京都/香港/パリ)
- √K Contemporary (東京)

The Wall

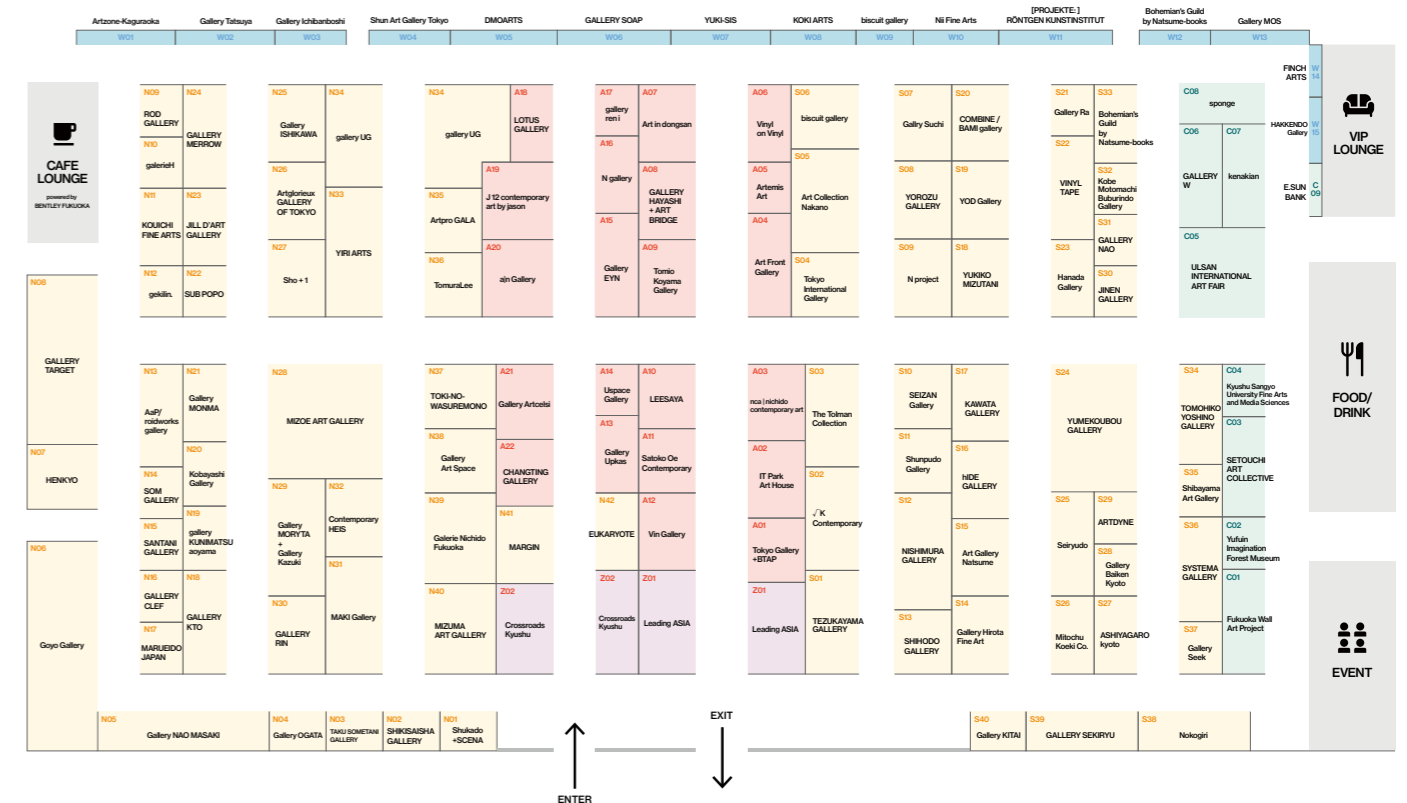
15 ギャラリー

- アートゾーン神楽岡 (京都) biscuit gallery (東京/軽井沢) ボヘミアンズ・ギルド (東京)
- DMOARTS (大阪) FINCH ARTS (京都) 八犬堂ギャラリー (東京) 一番星画廊 (東京)
- KOKI ARTS (東京) ギャラリーMOS (松阪) Nii Fine Arts (大阪)
- レントゲン藝術研究所準備室 (東京/金沢) Shun Art Gallery Tokyo (東京/上海)
- GALLERY SOAP (北九州) GALLERY 龍屋 (愛知) YUKI-SIS (東京)

Collaboration

9社・団体

- E.SUN BANK (台北) Fukuoka Wall Art Project (福岡) GALLERY W (東京)
- kenakian (佐賀) 九州産業大学 芸術学部 芸術表現学科 (福岡)
- 瀬戸内アートコレクティブ (香川) sponge (福岡)
- ULSAN INTERNATIONAL ART FAIR (ウルサン) 由布院空想の森美術館 (大分)





Leading ASIA

Contemporary





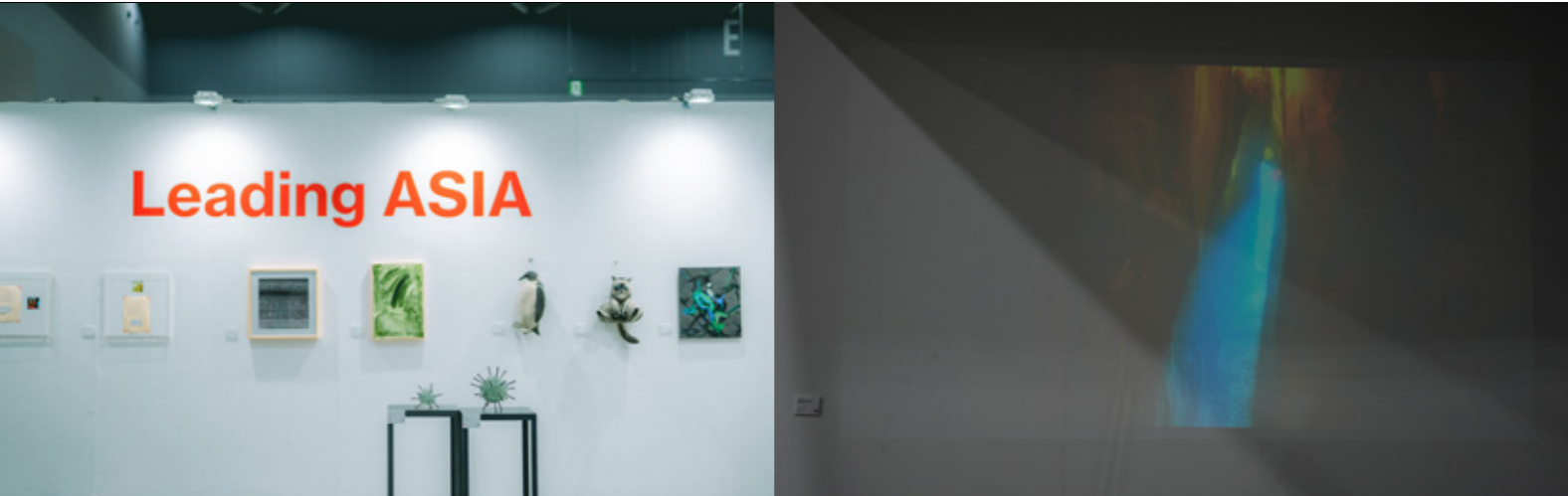


05. Curation

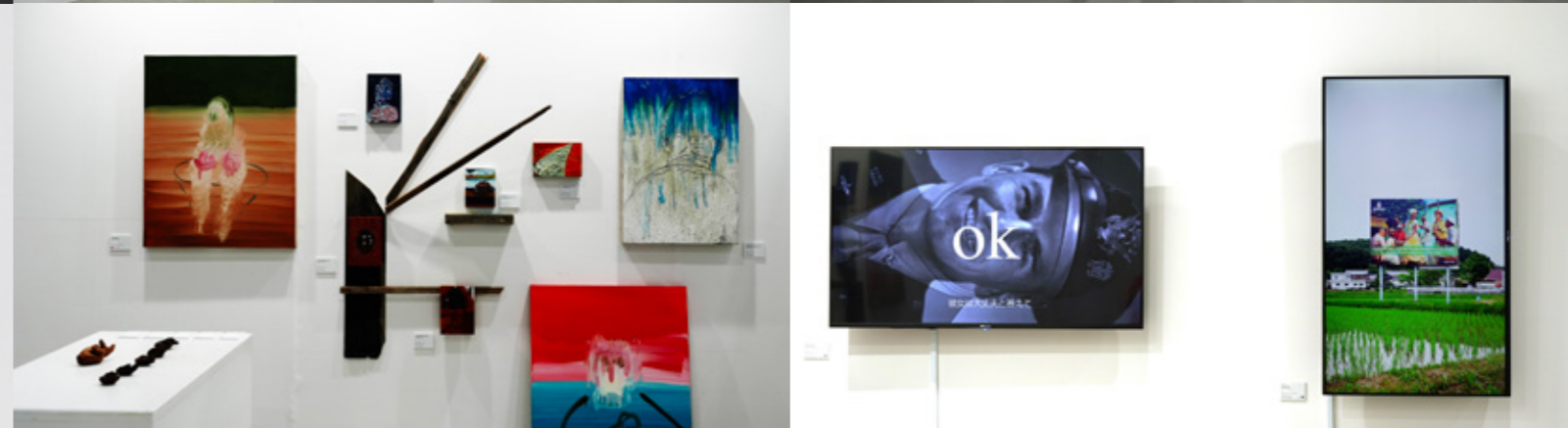
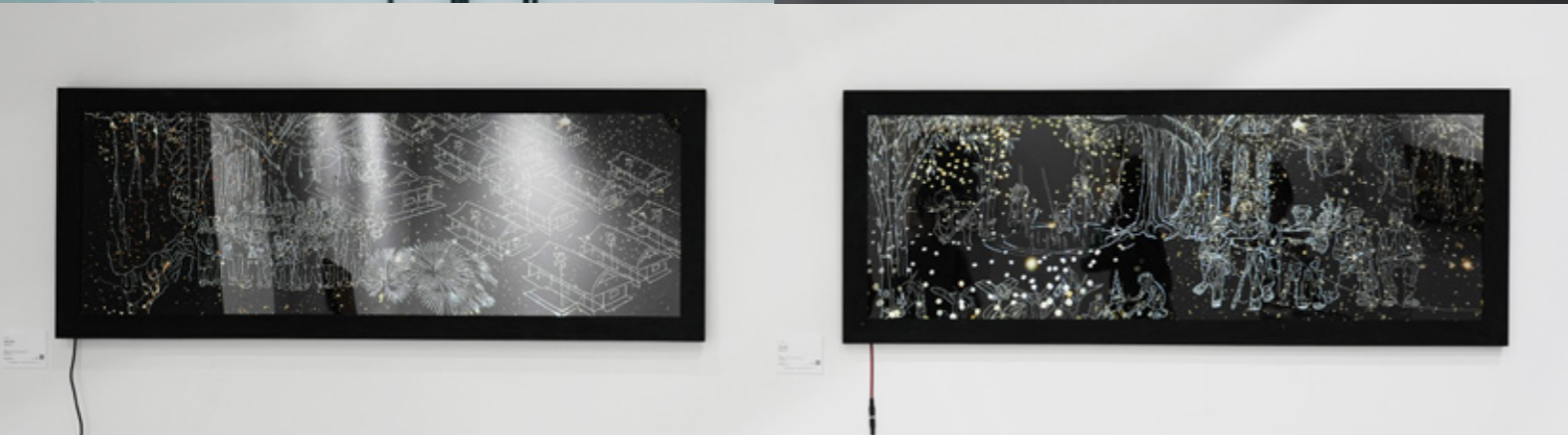
キュレーションブース

世界的コレクターである宮津大輔氏らをキュレーターに迎え、福岡で開催されるアートフェアならではの展示を行いました。本年は「アジア」だけでなく、「九州」をテーマに、2つの切り口でブースを展開し、アートが辿ってきた過去を通して現在を見つめ、これからの未来へ想いを馳せる、特別な機会を創出しました。

Leading ASIA (Booth: Z01)



Crossroads Kyushu (Booth: Z02)



Leading ASIA (キュレーター：宮津大輔)

アジアの注目アーティストの作品を、宮津大輔氏のキュレーションで紹介するブース「Leading ASIA」を開催。



「Storyteller (物語の語り手)」をテーマに、アジア地域のギャラリーから注目アーティストの選り抜きの作品を紹介。ダイナミックな経済発展や直面する数々の社会課題、アフター/ウィズ・コロナの状況などを扱った多種多様な作品で、エモーショナルなアジアの現在を提示した。参加ギャラリーは、nca | nichido contemporary art (東京)、GALLERY2 (韓国・ソウル、濟州島)、Sa Sa Art Projects (カンボジア・プノンペン)、Vin Gallery (ヴェトナム・ホーチミン)、YIRI ARTS (台湾・台北) の5軒に、話題のアーティストも加え、展示総数15点による構成とした。今年のアート・バーゼル香港で大きな話題となった Ngoc Nau や若手アーティストの登竜門と言われる台湾文化センターの「Made in Taiwan」に選抜された Hsieh Jung-Wei、「浪のしたにも都のさぶらふぞ」展(山口情報芸術センター)で新境地を拓いた Chen Hsien Yu といった、アジア最先端のアーティスト達による注目の作品を日本で初めて展示販売を行った。

宮津大輔 (AFAF2023スペシャル・アドバイザー)

Crossroads Kyushu (キュレーター：竹田春菜)

AFAF初となる「九州」をテーマにしたキュレーションブースを開催。

「響き合う力 九州から開かれる」をタイトルとし、九州にゆかりのある作家たちの作品を紹介。九州の歴史、そして自身のルーツに深く根差しながら、誰かと、何かと響き合い、繋がりが合いながら、現代に存在する様々な葛藤に対して向き合っていくことを模索した作品の数々を展示いたしました。

参加ギャラリーは、アートフロントギャラリー (東京)、GALLERY SOAP (北九州)、WAITINGROOM (東京)、九州そして国内外で活躍する計7名のアーティストによる20点を超える作品を展示。2022年にドイツカッセルで開催された世界的に著名な国際芸術祭ドクメンタ15に参加した栗林隆、ポーラ美術館、広島市現代美術館、アーツ前橋などにおける展示で注目を集める平野薫、フィクションとドキュメンタリーを交差させた映像を制作し、国立国際美術館での展示を終えたばかりの石原海など、現代性を鋭く捉えるアーティストによる作品を紹介しました。

06. Collaborative Program

連携プログラム

Food & Drink Corner / Food Terrace

本年は会場内に飲食可能なスペースを併設、また、会場外のマリンメッセテラスにもフードトラックが集結するなど、アートと食をともに楽しむ空間づくりを実現いたしました。

特別協力： 株式会社サエキジャパン



BENTLEY Collaboration

AFAF スポンサーのベントレー福岡とのコラボレーションによる、「CAFE LOUNGE power by BENTLEY FUKUOKA」を会場内に展開。また会場外のマリンメッセテラスにはベントレー10台が並んだ圧巻の光景をお届けしました。

協賛： ベントレー福岡



Bar Higuchi Special Collaboration

中洲の老舗・オーセンティックバー「Bar Higuchi」とコラボレーションし、アジア、アートをテーマとしたオリジナルカクテルを提供いたしました。

協力： Bar Higuchi / 福博ツナグ文藝社



Media Booth

メディアパートナーが発行する各種媒体を閲覧できるスペースを設置いたしました。

メディアパートナー： アートコレクターズ / 美術手帖 /
Tokyo Art Beat



VR Tour

AFAF2023へのご来場が難しかった方や、アーカイブのための資料として、AFAF2023会場をVR撮影し、ウェブサイト上で公開しております。

特別協力： 株式会社TODOROKI



Online Shop

コレクター向けECサービス「Art Scenes」との提携を行い、直接会場に来ることが出来ない方や、来場されたものの十分な時間が取れなかったという方向けに、AFAF2023会期を含む2023/8/18(金)～10/1(日)まで、オンラインセールを実施しました。

特別協力： Art Scenes (株式会社TODOROKI)



07. Vernissage

ヴェルニサージュ

AFAF2023の初日は、会場内で開催されたヴェルニサージュで幕を開けました。
来場者にはドリンクが振る舞われ、アートとともに美酒を楽しむ優雅なひとときを楽しみました。

日時： 2023/9/21 (木) 16:00~20:00
会場： マリンメッセ福岡B館会場内
ドリンク協賛： SAKE HUNDRED / シュマッツ / 株式会社みぞえ



08. Reception Party

レセプションパーティー



AFAF2023のレセプションパーティーを博多埠頭の湾岸沿いにある「Restaurant Sola」で実施しました。
出展者、パートナーをはじめ約300名が来場し、主催者である一般社団法人アートフェアアジア福岡代表理事の阿部、
共催の福岡市より高島宗一郎福岡市長、一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパンより井上智治氏をご挨拶を行いました。

日時： 2023/9/23 (金) 19:30~21:00
会場： Restaurant Sola、ベイサイドプレイス博多
ドリンク協賛： 安心院葡萄酒工房 / SAKE HUNDRED / キリンビール / シュマッツ / 株式会社みぞえ



09. Talk Session

トークセッション

孫泰蔵氏、榎本二郎氏、明石ガクト氏ら文化に精通した起業家・経営者。建畠哲氏、南條史生氏、沓名美和氏らアートのスペシャリスト。宮津大輔氏と海外ゲストなど、豪華登壇者がアジアと福岡の現在を深掘り、様々な切り口でアートを語りました。



2023/9/22 (金)

14:30 - 15:30

ベトナム・アートシーンの現在とこれから

シャビン・シン (Cohart共同創業者/Vin Gallery創業者)
モデレーター：宮津大輔 (AFAF2023スペシャル・アドバイザー)

ベトナム版の改革・開放である「ドイモイ政策」によって、近年躍進を続ける経済を反映して、ホーチミンとハノイの2大都市を中心に、同国の現代アート・シーンは急速に発展しつつあります。ホーチミンを代表するギャラリストが、ベトナム・アートシーンについて語ります。

17:00 - 18:00

アジア最旬アーティストの魅力に迫る

岩瀬幸子 (nca | nichido contemporary artディレクター)
タウン・ワトウヤ (アーティスト)
ピンリン・ホワン (アーティスト)
モデレーター：宮津大輔 (AFAF2023スペシャル・アドバイザー)

アジア地域のエマージング・アーティストを数多く紹介してきたncaのディレクターと共に、数々の国際展で活躍するタウン・ワトウヤ(タイ)と、現在、横浜・黄金町のレジデンス・プログラムに参加中の女性ペインター黄品玲(台湾)の作品世界に迫ります。

2023/9/23 (土)

11:30 - 12:30

最注目ギャラリーとART TAIPEIディレクターが語る『台北アートの動向』

オートン・ファン (YIRI ARTSディレクター)
ベティ・ライ (ART TAIPEIディレクター)
モデレーター：宮津大輔 (AFAF2023スペシャル・アドバイザー)

台北・内湖地区の元工場をリノベーションしたYIRI ARTSによる2棟の広大なギャラリーがオープンしてから、人の流れが変わったと言われています。今、最も注目されているギャラリーと、台湾最大のアートフェアであるART TAIPEIディレクターが、他では決して聞けないアートの最新動向を語り合います。

13:00 - 14:00

「越境するアジアの現在、そして未来」について

沓名美和 (魯迅美術学院教授/多摩美術大学客員教授/現代美術史家/キュレーター/ディレクター)
建畠哲 (美術評論家/詩人/埼玉県立近代美術館・草間彌生美術館館長)

90年代から様々なアーティストと関わり国際展のキュレーションや展覧会を開かれてきた建畠哲氏、現代美術史家・キュレーター・東アジア文化芸術の専門家として外交行事にも携わる沓名美和氏が、時代の移り変わりと共に大きな変化を迎えようとしているアジアのアートシーンについて語ります。

15:00 - 16:00

NYと福岡にみる都市におけるアートの役割とは？ グローバルとローカルのはざままで

榎本二郎 (株式会社Zero-Ten 代表取締役社長)
明石ガクト (ワンメディア株式会社 代表取締役CEO)
戸塚憲太郎 (NowHere ディレクター)

アートフェアやアートイベントが乱立する昨今、都市においてアートの果たす役割が変化しつつあります。グローバルとローカルの間で揺れる都市。その都市の発信力を促進させる起爆剤として期待されるアートを、急速に発展する福岡はどう巻き込めるのか。世界最大の美術品市場のニューヨークと比べながら、都市とアートの関係性を考えます。

17:00 - 18:00

アートとAFAFのワクワクする未来について考える

孫泰蔵 (連続起業家/ベンチャー投資家)

【ゲスト】

南條史生 (森美術館特別顧問/十和田市現代美術館総合アドバイザー/弘前れんが倉庫美術館特別館長補佐/アーツ前橋特別館長)
沓名美和 (魯迅美術学院教授/多摩美術大学客員教授/現代美術史家/キュレーター/ディレクター)
宮津大輔 (AFAF2023スペシャル・アドバイザー)
阿部和宣 (一般社団法人アートフェアアジア福岡代表理事/みそえ画廊)

アートコレクターでもあり、世界を股にかけて活躍する孫泰蔵氏とともに、中国はもちろん、台湾、韓国が台頭しているアジアのアートマーケットの中で、日本、そして福岡がアートに取り組む意味や、AI時代に必要な学びや生き方からアートの未来を考えていきます。



2023/9/24 (日)

11:30-12:30

アジアの多様性と未来

南條史生 (森美術館特別顧問/十和田市現代美術館総合アドバイザー/弘前れんが倉庫美術館特別館長補佐/アーツ前橋特別館長)

沓名美和 (鲁迅美術学院教授/多摩美術大学客員教授/現代美術史家/キュレーター/ディレクター)

【ゲスト】

シャビーン・シン (Cohart共同創業者/Vin Gallery創業者)

エマーソン・ワン (インディペンデントキュレーター/美術評論家/ART TAIPEI元エグゼクティブディレクター/Ink Now art fair元アーティストディレクター)

トニー・チャン (Uspace Gallery)

阿部和宣 (一般社団法人アートフェアアジア福岡代表理事/みそえ画廊)

90年代末よりヴェニスビエンナーレ日本館など、様々な国際展で総合ディレクターを歴任、世界各都市のアートシーンを熟知する南條史生氏、東アジア文化芸術の専門家として外交行事にも携わる沓名美和氏が、アジアの多様性と未来について考えます。

13:30-14:30

東アジアの美術ダイアログ：「縁起」と創造

シーズン・ラオ (美術家)

山本浩貴 (文化研究者/金沢美術工芸大学講師)

東アジアの現代アートを研究する山本浩貴氏をファシリテーターとして迎え、ザ・リッツ・カールトン福岡に大作が収蔵された美術家シーズン・ラオ氏と、フランスの国立東洋美術館で開催している個展作品を通して「縁起」や「余白」について触れ、「容中律」の考えへと話を広げていきます。

15:00-16:00

アカデミックとコマーシャルに揺れるアートの未来を考える

エマーソン・ワン (インディペンデントキュレーター/美術評論家/ART TAIPEI元エグゼクティブディレクター/Ink Now art fair元アーティストディレクター)

人生を満すためにアートは必要なものです。時に芸術は高尚なものです、値段で表せない価値があります。美術館、ギャラリーからアートフェア、デザイン、ファッション、建築、食に至るまで、多数のコラボレーションの計画をインディペンデントキュレーター/美術評論家のエマーソン・ワンが、台湾の新しいアートシーンの例とともに話します。



10. Guide Tour

会場内ツアー

AFAF2023スペシャル・アドバイザーを務める宮津大輔氏によるギャラリーツアーや、Z世代をはじめ若者から支持を集めるアートインフルエンサー「耳で聴く美術館」によるガイドツアー、福岡の大学生・専門学生に向けた、美術解説者でありアートワークショップデザイナーの「美術解説するぞー」さんのオリジナル鑑賞ワークショップをはじめ、AFAF2023をより深く楽しむことができる様々な会場内ツアーを企画・開催いたしました。



11. Satellite Program

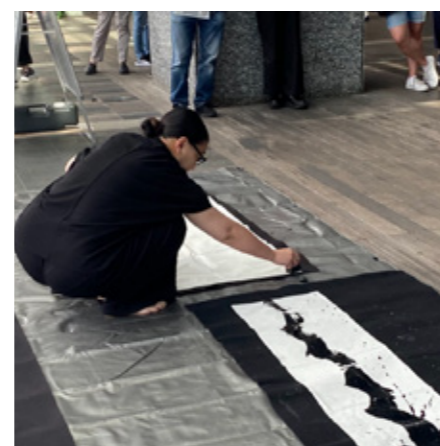
サテライトプログラム



HAKATA ART EXPRESS

九州のターミナル駅である博多駅に位置する博多駅前広場でAFAF2023出展ギャラリー等による、大型アート作品の展示やライブペインティングが行われました。日頃見ることが出来ない大型アートの展示に博多駅を通りがかる人々を中心に大いに盛り上がりを見せました。

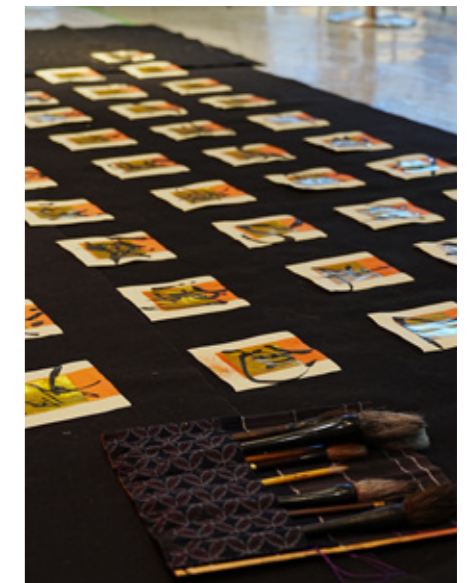
- 開催日程: 2023/9/22 (金) ~9/23 (土)
- メイン会場: JR博多駅 博多駅前広場
- 大型作品展示: 田中千智「ハラベコ赤ずきんの森」(sponge) / 辻孝文「Entrance of loop」(瀬戸内アートコレクティブ) / 野原邦彦「オムレツマント」(gallery UG) / 三塚新司「Slapstick」
- ライブペインティング: 白晃 (3ta2 SANTANI GALLERY)
- 共催: 福岡市、博多阪急、一般社団法人アートフェアアジア福岡



Painting for Sky

9/19 (火) ~9/24 (日) まで福岡空港 国内線旅客ターミナルでは、AFAF2023出展アーティストがライブペインティングを行い、旅行者を出迎えました。福岡空港をご利用される方がお立ち寄りいただき、アーティストが描き出す、躍動感あふれる作品の世界観を体感しました。

- 開催期間: 2023/9/19 (火) ~9/24 (日)
- 会場: 福岡空港国内線旅客ターミナル1F 到着口/北
- 出展アーティスト: 銀ソーダ (GALLERY 龍屋) / 鳥越一輝 (ギャラリーモリタ + 画廊香月) / 平野早依子 (芦屋画廊 kyoto) / 白晃 (3ta2 SANTANI GALLERY)
- 企画協力: 福岡国際空港株式会社



12. Associated Program

関連プログラム

栗林隆 + CINEMA CARAVAN 特別展示

福岡市主催の「FaN Week 2023」の特別企画として、アーティストの栗林隆 + CINEMA CARAVANによる《元気炉》、《Tanker Project》の展示を舞鶴公園三の丸広場で実施。また、CINEMA CARAVAN 代表である志津野雷氏が世界を旅して切り取った記録を紡いだ映像作品《Play with the Earth》に合わせて、Play with the Earth Orchestraが生演奏を行いました。AFAF2023期間中も、《元気炉》・《Tanker Project》の展示・《元気炉》稼働が行われました。

開催日程： 2023/9/16 (土)～9/24 (日)

会場： 舞鶴公園三の丸広場



特別展示に際して、栗林隆氏のオリジナルグッズの制作を行いました。《元気炉》の描き下ろしドローイングや、迫力あるアートタンカーのイラストの入りのグッズをイベント会場や関連施設等で販売しました。



AFAF2023 Opening Night MEETUP < ART > DINNER

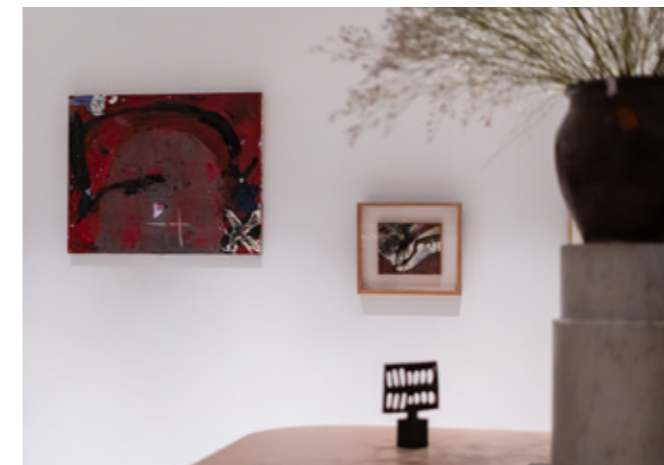
AFAF2023の初日の夜を祝うオープニングディナー、「MEETUP < ART > DINNER」を福岡を代表するレストラン「GohGan」で行いました。世界の美食家たちが認める福岡を代表するレストラン「GohGan」オーナーシェフ・福山剛氏の全面協力のもと、福岡をはじめ九州各地の食材を中心に使い、遊び心のある食器も九州の窯元でGohGanのために特別に作られたものを使用した、特別なディナーをご提供いたしました。また、開催に合わせてレストラン内に AFAF2023のスペシャル・アドバイザーである宮津大輔氏のキュレーションによる九州の作家の作品を展示。ディナー当日には宮津氏による作品解説も行われました。

日程： 2023/9/21 (木)

会場： GohGan / O10BUILDING

共催： 株式会社アイ・ダヴリュー・エイ・ツアー

企画協力： GohGan



13. Pre Event

プレイベント

AFAF2023の開催に先立ち、福岡・九州エリアの経営者・ビジネスマン向けのセミナーの開催や、一部の出展作品の先行展示を実施しました。

AFAF Pre Exhibition at BIZCOLI

AFAF2023の開催に向け、福岡の会員制ライブラリー「BIZCOLI」交流ラウンジにて、「AFAF Pre Exhibition at BIZCOLI」を開催いたしました。新進気鋭の若手から福岡の巨匠まで、アートフェアにも出展予定のアーティストの作品を一足先に展示し、BIZCOLI交流ラウンジ内をアートで彩りました。

期間： 2023/8/18 (金) ~2023/8/31 (木)

会場： BIZCOLI 交流ラウンジ

出展ギャラリー・作家：

EUKARYOTE (畑山大志) / ギャラリーモリタ (鳥越一輝、山内重太郎)
LEESAYA (田中秀介) / みぞえ画廊 (豊福知徳、野見山暁治、森山安英)
nca | nichido contemporary art (Tawan Wattuya)
Satoko Oe Contemporary (丹羽良徳) / 東京画廊+BTAP (Ayako Someya)



宮津大輔氏トークイベント

AFAF2023でスペシャル・アドバイザーも務める世界的コレクターの宮津大輔氏によるトークイベントを、九州経済調査協会、福岡商工会議所に2回開催いたしました。アートコレクターとして著名な宮津氏の講演を直に聞ける貴重な機会に福岡を中心に多くの方が訪れ、福岡でのアート作品購入への関心が高まりを感じられました。

九州経済調査協会・BIZCOLI

日時： 2023/8/30 (水) 18:30~19:30 (終了後、懇親会)

会場： 電気ビル共創館カンファレンスA

共催： 一般社団法人アートフェアアジア福岡、
公益財団法人九州経済調査協会

来場者数： 約100名

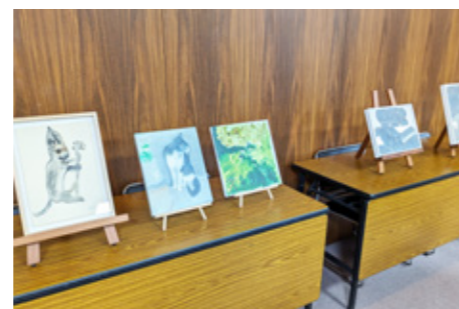
福岡商工会議所

日時： 2023/9/15 (金) 14:00~15:30

会場： 福岡商工会議所5階 特別会議室501

共催： 福岡商工会議所、ART FAIR ASIA FUKUOKA 実行委員会

来場者数： 約50名



14. Privilege

AFAF 特典

AFAF2023のVIP・チケット保有者への各種プログラム・チケット特典をご用意しました。

VIP プログラム

【無料プログラム】

ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023 Vernissage

会場のマリメッセ福岡B館でオープニングパーティーを開催。

ベルニサーージュドリンク協賛： SAKE HUNDRED、シュマッツ、株式会社みぞえ

【有料プログラム】

AFAF2023 Opening Night MEETUP < ART > DINNER

AFAF2023の初日の夜を祝うオープニングディナーを開催。

共催： 株式会社アイ・ダヴリュウ・エイ・ツアー

企画協力： GohGan

福岡/佐賀 カルチャー&アート 1DAYツアー

AFAF2023の会場から、太宰府天満宮のアートプロジェクトや、波佐見町・有田町の陶磁器、そして嬉野茶を楽しむ日帰りツアーを開催。

企画協力： 株式会社アイ・ダヴリュウ・エイ・ツアー

VIP 特典

Art Fair Beppu 2023 無料入場

同時期開催のアートフェア Art Fair Beppu 2023への無料入場を実施。

アートフェアパートナー： Art Fair Beppu 2023

福岡市内の美術館・展覧会への無料入場

福岡市内の美術館・展覧会への特別入場を実施。

特別協力美術館： 福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館

<対象展覧会>

福岡アジア美術館「福岡アジア美術館 ベストコレクション」

福岡市美術館「コレクターズII -アートと生きる3人-」「コレクションハイライト」

福岡市博物館「常設展 -FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと-」

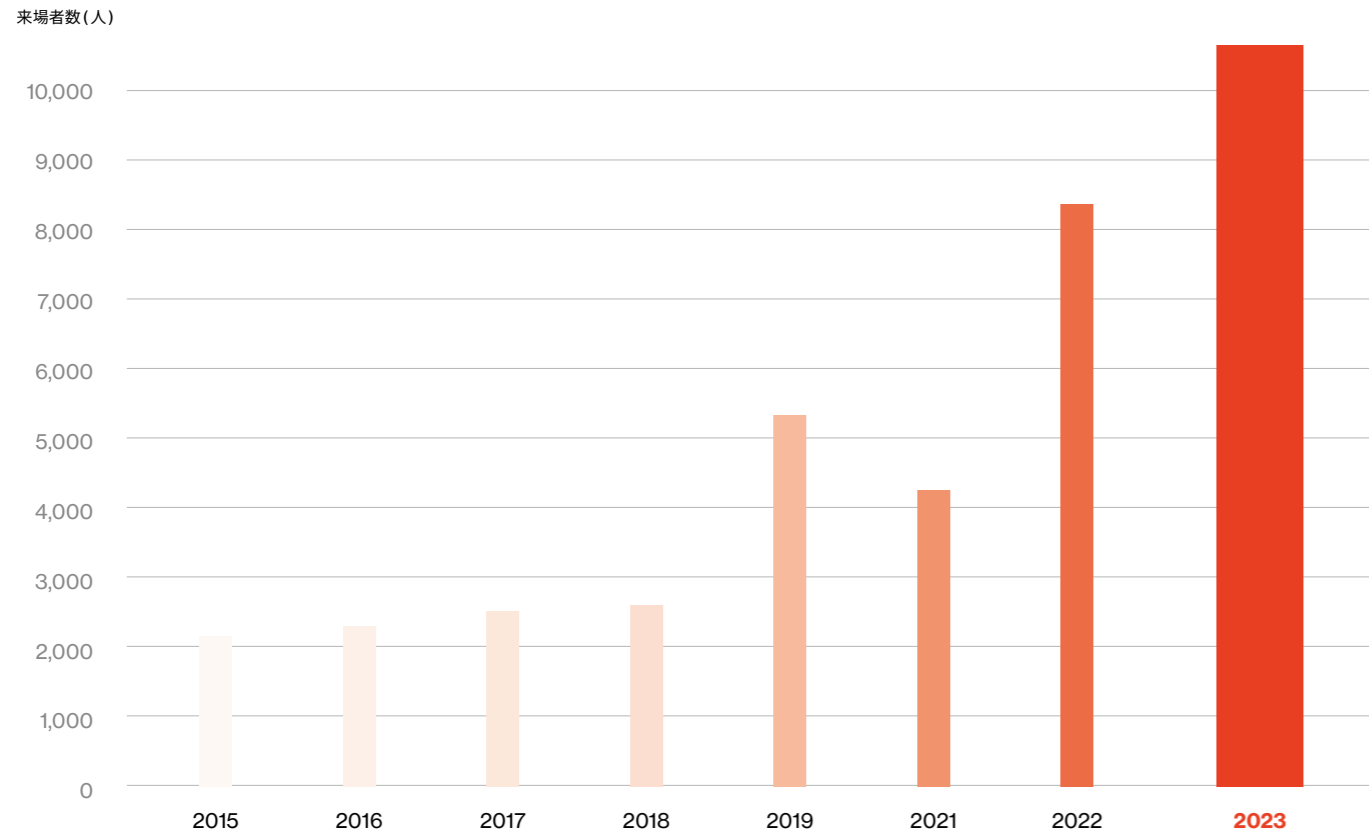
AFAF×博多阪急 抽選会

AFAF チケット保有者を対象に、博多阪急1階の特設スペースで景品が当たる抽選会を開催。

協力： 博多阪急

15. Achievement

開催実績



開催	開催年	来場者	会場
1st	2015年9月	2,200	ソラリア西鉄ホテル福岡
2nd	2016年9月	2,300	ホテルオークラ福岡
3rd	2017年9月	2,503	ホテルオークラ福岡
4th	2018年9月	2,606	ホテルオークラ福岡
5th	2019年9月	5,370	ホテルオークラ福岡 / 福岡三越
6th	2021年9月	4,156	博多阪急8階催場 / 7階イベントホール「ミュージズ」
7th	2022年9～10月	8,364	福岡国際会議場 / ホテルオークラ福岡
8th	2023年9月	10,530	マリンメッセ福岡 B館

16. Media Coverage

メディア掲載

地元福岡のメディア各局・新聞・美術系雑誌などで取り上げられました。

ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023 特別番組

テレビ西日本「積水ハウスプレゼンツ rich time,art life～アートのある豊かな暮らし～」

出演：白川順子（株式会社白川リアルエステート代表取締役） / 佐伯岳大（株式会社サエキジャパン代表取締役） / 春山慶彦（株式会社ヤママップ代表取締役） / 渡邊寛子（福神グループアートコンサルタント） / 高島宗一郎（福岡市長） / 阿部和宣（一般社団法人アートフェアアジア福岡代表理事/みそえ画廊） / 森田俊一郎（一般社団法人アートフェアアジア福岡理事/Gallery MORYTA） ほか

テレビ・ラジオ

九州朝日放送 / テレQ / テレビ西日本 / RKB毎日放送 / FBS 福岡放送 / MBC ラジオ / RKB ラジオ / KBC ラジオ / CROSS FM 「CROSS COUNTDOWN RADIO」

新聞

西日本新聞 / 福岡市政だより

雑誌・Webメディア

アートコレクターズ / 美術手帖 / Tokyo Art Beat / ARTnewsJAPAN / 読賣新聞オンライン / 西日本新聞me / 博多経済新聞 / 小倉経済新聞 / Mapionニュース / ニコニコニュース / MIRAI 全国版 / VOGUE.com / クリップ九州 / anntenna / 福岡のニュース / よかなび / TEKTON / 株式会社 Clear / Japanese-City.com / ヨテミラ (TNC) / おもしろてんじ / FEEL FUKUOKA JAPAN / FUKUOKA NOW / 月刊はかた / 九州王国 / Korea News System



美術手帖 2023/9/22

Tokyo Art Beat 2023/9/22

博多経済新聞 2023/9/11

VOGUE.com 2023/7/7



TEKTON 2023/9/11



FUKUOKA NOW 2023/9/22



アートコレクターズ 2023年9月号

17. AFAP Visual Identity

ヴィジュアルアイデンティティ

混沌と変化し続ける時代・情勢に適応しながらも確固たる意思や信念を持ち、時代を過ぎながら愛されるアート作品の様に、永年残り続ける佇まいを表現しています。どんなイメージの上に重ねても、アイデンティティが確立できる設計となっています。



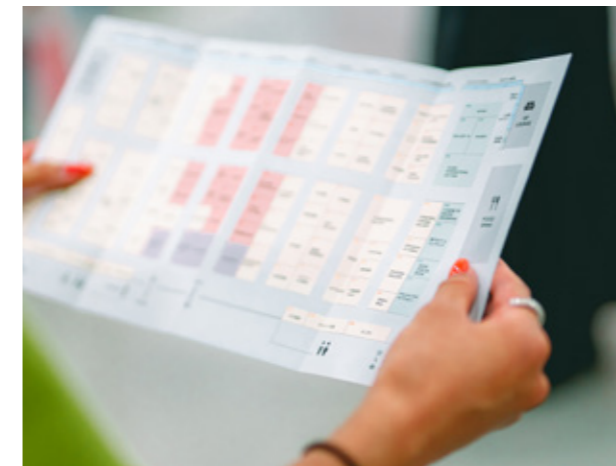
18. Printed Matter

印刷物

2023 クリエイティブコンセプト

コロナの夜が明け、新たな時代を迎える2023年。不確実性の高い世の中において、明るい未来への願望・期待が生み出すエナジーフローが、2023年のART FAIR ASIA FUKUOKAを包み込みます。

AFAP
ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2023



作成物

B2サイズポスター（第1弾）/ B2サイズポスター（第2弾）-福岡用 / B2サイズポスター（第2弾）-全国用 / A4サイズフライヤー（第1弾）/ A4サイズ二つ折りフライヤー（第2弾）/ リーフレット（日本語・英語・韓国語・中国語[繁体字/簡体字]）/ 引き換えチケット（全5種）/ ネットパス（全7種）/ レセプションパーティーチケット / プレイベントフライヤー / 来場者アンケート / A4サイズポリ袋



19. Sign Design

サインデザイン



20. Website

ウェブサイト

Website

ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023ウェブサイトは、多言語に対応し、更に Art Scenes と連携することにより、出展作品をオンラインで購入できる仕組みを構築しました。また、VIP用ポータルサイト機能を備え、特別な情報がVIP来場者に提供されました。

サイト閲覧数

合計： 127,000人
国内： 120,000人
国外： 7,000人
* 2023/9/1 ~ 10/1



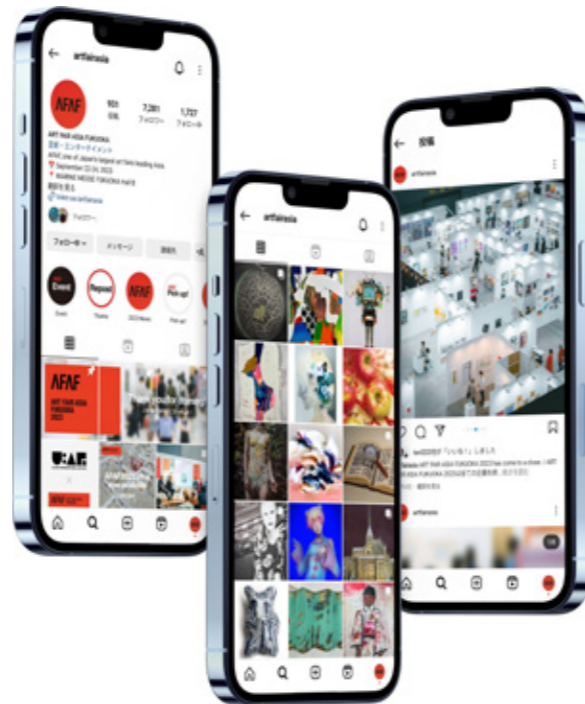
Social Media

SNSアカウントでは、インフォメーションや関連イベントなどの最新情報のほか、出展ギャラリーや出展作家をご紹介しました。海外からのアクセスも多いInstagramでは多言語対応を行いながら、リール動画を活用して注目作品をご紹介しました。

期間中は#ARTFAIRASIAFUKUOKAにて出展者や来場者から会場の様子が多数シェアされました。

SNSフォロワー数

Instagram： 7,247人
X(Twitter)： 2,147人
Facebook： 1,074人
* 2023/10/1 時点



21. City Dressing

シティドレッシング

AFAF2023開催に合わせ、福岡の街をAFAFカラーに染め上げる「シティドレッシング」を実施いたしました。博多駅や福岡空港をはじめ、博多駅からマリンメッセ福岡B館のあるベイエリアを繋ぐ「大博通り」、福岡市内を走る電車、博多ポートタワーなどの施設がAFAFカラーに染まりました。

交通広告、ライトアップ、ポスター設置等

博多駅コンコースセンタービジョン（プロモーション動画放映） / 中央改札口正面マルチビジョン（プロモーション動画放映） / 博多駅コンコース（ポスター掲出） / 鹿児島中央駅（ポスター掲出） / 大博通り（バナーフラッグ掲出） / 西鉄天神大牟田線・貝塚線駅構内（ポスター掲出） / 西鉄天神大牟田線・貝塚線電車内（中吊りポスター掲出） / 博多ポートタワー（ライトアップ） / 福岡市赤煉瓦文化館（ライトアップ）
ほか福岡市内各所にポスター・フライヤー設置

サテライトプログラム開催

福岡空港国内線ターミナル（Painting for Sky） / 博多駅前広場（HAKATA ART EXPRESS）

協賛： 西日本鉄道株式会社

協力： 博多阪急 / 株式会社JR博多シティ / 福岡国際空港株式会社 / 博多まちづくり推進協議会 / JR九州エージェンシー株式会社



22. Goods

グッズ

宮津大輔コレクション作品から AFAF2023限定トートバッグを制作・販売いたしました。



White Ayako Someya (東京画廊 + BTAP)



Black Ting-Tong Chang (nca | nichido contemporary art)



AFAF当日スタッフ・ボランティア向けのユニフォームとしてオリジナルTシャツを制作しました。



23. Volunteer Staff

ボランティア

2023/9/20 (水)～24 (日)の5日間に、のべ100人を超えるボランティアスタッフが参加いたしました。



本年度は海外出展者・来場者も多く、会場運営のみならず、通訳として活躍するボランティアスタッフもいました。多くのボランティアスタッフのご支援を受けながら、AFAF2023は開催されております。AFAF2023の開催にご尽力いただいた皆様にご場を借りて、感謝申し上げます。



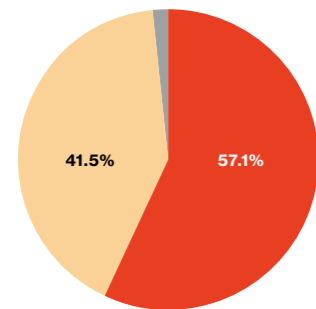
24. Visitor Survey

来場者アンケート

AFAF来場者向けのアンケートの集計結果です。福岡・九州エリアのみならず、関東・関西の都市圏からの来場もございました。また、AFAFへ初めて来場するという方も多く、今後もアートマーケットの拡大のため、SNSやウェブサイト、各種メディアでの広報活動に積極的に取り組んでまいります。

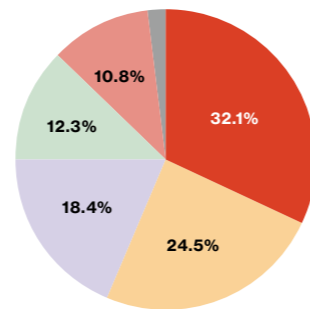
1. 性別

男性
女性
その他



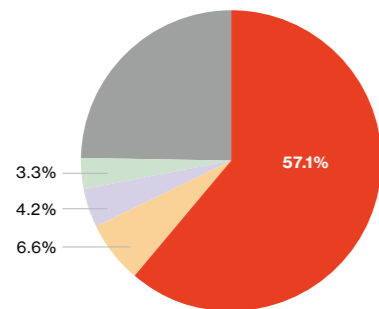
2. 年齢

50歳～59歳
40歳～49歳
60歳～69歳
20歳～29歳
30歳～39歳
その他



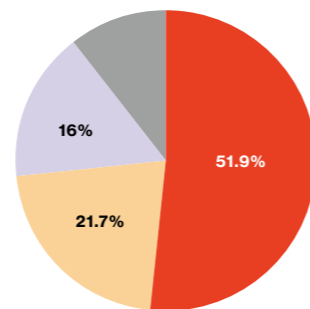
3. 居住地

福岡県
東京都
大阪府
熊本県
その他



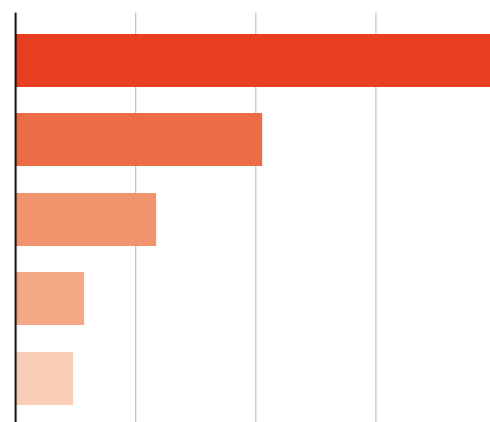
4. AFAFの来場回数

1回目
2回目
3回目
その他



5. 来場のきっかけ

現代美術に興味があったため
作品を購入するため
ギャラリーに興味があったため
仕事の情報収集のため
その他



実施概要

アンケート期間： 2023/9/21～10/21
有効回答数： 212
調査手法： Web アンケート

ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023

運営組織

Directors

阿部和宣（一般社団法人アートフェアアジア福岡代表理事/みぞえ画廊）
森田俊一郎（一般社団法人アートフェアアジア福岡理事/Gallery MORRYTA）
井上雅也（一般社団法人アートフェアアジア福岡理事/株式会社 TODOROKI）

Selection Committee

阿部和宣（みぞえ画廊）
森田俊一郎（Gallery MORRYTA）
石橋高基（KOKI ARTS）
井上雅也（株式会社 TODOROKI）

Special Advisor

宮津大輔

Global Executive Advisor

三田丞次

Art Director

柳澤友己

Executive Office

玉井徳真 / 中島咲璃 / 櫻井史恵 / 土屋裕仁 / 竹村晴 / 今井萌乃香 / 山岸青葉 / 吉田真尋 / 平野萌乃 / 八田裕貴 / 高田このか / 石井茉莉 / 葛西直樹 / 竹田春菜

Photographer

Hiroyuki Mori / 山内コーヘイ / 日本デザイナー学院九州校 映像・写真科（ボランティア）



AFAF

**ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2023**

一般社団法人アートフェアアジア福岡

General Incorporated Association
ART FAIR ASIA FUKUOKA

artfair.asia

info@artfair.asia